

1 学校教育目標

- 思いやりのある子 よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子
- 考える子 様々な問題を解決するために、多様な考えをもてる子
- たくましい子 困難に直面してもあきらめず、より高い目標に向かって努力し続ける心と体をもつ子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力を身に付けられる学校 ○豊かな心を醸成できる学校 ○確かな学び、豊かな心を支える強く健やかな心と身体が育つ学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的、基本的な学力を身に付けた児童 ○進んで学習や運動に取り組む積極性をもった児童 ○思いやりの気持ちを持ち、人権を尊重する児童 ○学習、生活両面で発達段階に応じた「規範意識」をもった児童 ○進んで運動に親しみ、心身を鍛える健康な児童
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○教育に対して熱意あふれる教師 ○児童に対して愛あふれる教師 ○向上心をもって職務に取り組む教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

1 学校の現状

児童数262名 10クラス 86周年の伝統校である。

【児童】思いやりのある、素直で明るい児童が多く、学習や諸活動においては真面目に取り組む。落ち着いた態度で学校生活を送っているが、やや積極性に欠ける面がある。運動会や展覧会等の学校行事で目標に向かって努力することで達成感を味わい、積極的に課題に取り組み、自己肯定感が高まりつつある。区学力調査の通過率は、目標の80%以上を達成した。

【教職員】学校長の経営方針を受け、教職員は意欲的で前向きに取り組んでおり、組織内の役割を確実に果たそうと努力している。また、小中連携・年次研修・校内OJT・教科指導専門員の指導などにより研修を積んでいる。着実に授業力を付けている。

【保護者、地域】親子三代卒業生の家庭も多く、保護者・地域とも学校に協力的である。保護者・地域・開かれた学校づくり協議会の方々との連携事業を増やすとともに質の向上を図っている（グリーンプロジェクト・親子ふれあい華道教室等）。学力向上や様々な取り組みに、学校の成果を評価し期待感も高まっている。

2 前年度の成果と課題

重点的な取組事項－1 学力向上(基礎的・基本的事項の定着 思考力・判断力・表現力の向上)

○数値目標 平成30年4月実施 区学力調査結果 通過率80%以上

○実施結果 平成30年4月結果 通過率80.1%

正答率は、国語80.3%、算数82.3%という成績であった。通過率においては、国語78.8% 算数81.4%という成績であった。

4月実施の区学力調査の通過率は、目標にしていた80%は達成することができた。ただ、年々正答率、通過率ともに値が下がってきている。特に、高学年になるにつれ伸び悩みの傾向がある。また、算数に比べ国語が下回っている。国語の力を児童につけるために、授業では音読・読解・作文等の基礎的な内容を確実に身に付けさせることを重点として取り組んでいく。また、朝学習の時間で行っている視写や読書、金曜日6校時の梅一タイムでの読解・短作文指導を検証し、より効果的な方策を学校全体で組織的に進めていく。算数では、引き続き3年生以上で習熟度別指導を行うとともに、単元テストで目標値に到達しなかった児童を対象に放課後補習を行っていく。

重点的な取組事項－2 教師の授業力の向上(小・中連携、校内OJT、巡回指導等)

○数値目標：管理職の授業評価 全員B以上 児童の満足度90% 学校評価90%

○実施結果：管理職の授業評価 全員B以上 児童の満足度91.2% 学校評価92.3%

7回の小中連携(十中・梅一・島根)実施。教員一人一人が自己の課題を明確にし、板書計画及びノート指導の向上に意欲的に取り組み、足立スタンダードによる授業が定着できた。ただ、所属した分科会内での指導案検討、研究授業参観なので所属以外の研究には関われないことが課題である。

校内OJTは、年間18回実施した。特に新学習指導要領の研修は教員相互で学び合うことができた。

教科指導専門員による巡回指導は、若手教員や教職経験年数の少ない教員を中心に行った。着実に足立スタンダードに基づいた授業は定着した。今後とも指導を授業改善にいかしていく。

重点的な取組事項－3 心身の健康推進(保護者・地域等との連携)

○数値目標：児童アンケート 生活リズム調べ・体力テスト等による数値向上

○実施結果：概ね良好

生活面のアンケートで概ね良好と回答した児童は、「挨拶」85.3%「言葉遣い」74.3%「早寝、早起き、朝ごはん」76.5%であった。数値が高くなるよう引き続き取り組んでいく。また、体育では94.5%の児童が「授業に楽しく取り組めた」と答えている。これは、学習カードの活用を通して授業改善等を行うことにより、児童がめあてをもって進んで運動に取り組んだ成果である。ただ、投力や跳躍力、敏捷性などに課題がある。

健康教育では、特に歯磨き指導等の成果として、5年連続して「東京都学校歯科保健優良校」を受賞した。

幼稚園・保育園との連携では、こだま幼稚園・島根保育園との教員同士の交流研修や児童・園児との交流(授業参観・給食参加・梅一サマーフェスタ参加・展覧会鑑賞等)、ブロック研修等を通し、教員同士の相互交流と児童(園児)理解を深めることができた。次年度もよりよい交流活動を計画・実践する。

保護者・地域との連携では、保護者・地域の方が学校行事等(学校公開3回 土曜公開10回 学年行事6回 運動会・展覧会等)へ参加していただくことで教育活動に対する御理解が得られた。また、開かれた学校づくり協議会や保護者の皆様の御協力のもと、芝生グリーンプロジェクト、芝生の上の映画会、花いっぱい運動、親子ふれあい華道教室、親子盆踊り体験等を実施することができた。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		H29	H30	R1	R2	R3
1	学力向上（基礎的・基本的事項の定着 思考力・判断力・表現力の向上）	○	○	○		
2	教師の授業力向上（小・中連携、校内OJT、巡回指導等）	○	○	○		
3	心身の健康推進（保護者・地域等との連携）	○	○	○		

5 令和元年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上（基礎的・基本的事項の定着 思考力・判断力・表現力の向上）							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
学力向上（基礎的・基本的事項の定着 思考力・判断力・表現力の向上）		学力調査 年度末	80% 82%	学力調査 年度末	80.1% 85.3%	目標は達成した。ただ、高学年になるにつれ、伸び悩み傾向がある。また、国語が算数に比べ劣るので対策が課題となる。		○	
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	朝学習（梅 一タイム）	全学年 国語 算数	毎 週 火 (国語) 毎 週 木 (算数) 毎 週 金 (読書)	【指導体制】担任 【取り組みのねらい・目的】 国語は、音読することで文章を正しく、はっきり、すらすら読めるようにし、それを視写することにより文章を正確に読み取る力をつける。算数は、計算プリント、百マス計算をすることにより学習内容の復習、計算力アップを行う。 【使用教材】音読用冊子、作文ノート、計算プリント ○つけは時間内に行い、正誤を即確認する。	時間内に行う。	全問正解。 間違いは時間内に直す。	国語、算数とも計画通り実施した。読むことや計算などの基礎的・基本的学力の定着に効果があった。	・年間を通し、継続して取り組むことで効果があった。 ・運動会などの学校行事前は時間の確保が難しい。	◎

2 継続	放課後補習 教室	算数 2年生 正答率 90%未満 3~6年生 正答率 80%未満 ※1年生は 担任が指導	会議等 のない 日の放 課後、週 2回平 均	【指導体制】担任、専科、学 習支援員、地域ボランティア 【取り組みのねらい・目的】 単元の学習内容の定着を 図る。つまずきをドリルで 確認し、解けなかった問題 の解き直しをする。 【使用教材】東京ベーシック ドリル、教科書がっちり算 数プリント等	時間内に行 う。	全問正解。 間違いは時間内 に直す。	2月末まで66回実施し た。	<ul style="list-style-type: none"> 日時を決めて全教員 で取り組んだことで 計画通り実施でき、 効果が上がった。 設定した時間を守る こと、特に開始時刻 を厳守したい。 	○
3 継続	梅一タイム	全学年 国語	毎週金 曜日6 校時	【指導体制】担任 【取り組みのねらい・目的】 文章力・読解力向上 【使用教材】視写、短作文、 文章問題	文章問題テス ト	文章問題テスト 正答率80%が8 割	達成目標はおおむねク リアできた。	<ul style="list-style-type: none"> 文章力、読解力の向 上に向けてよりよい 方策を求めていく。 	○
4 継続	間違い直し の徹底	1~6年生 各教科	その都 度教科 書の問 題、単 元テス ト等 の間 違いを 直す	【指導体制】担任 【取り組みのねらい・目的】 間違えた問題をできるよ うにする。 【使用教材】教科書、単元テ スト等。	間違い直し 後、確認テス トの実施	正答率100%	間違い直しは、おおむ ね行うことができた。	<ul style="list-style-type: none"> 間違い直し後の確認 テストで即満点とい うのは難しかった。 繰り返しの指導が必 要である。 	○
5 継続	夏季学習教 室	2~6年生 算数 正答率 60%未満 ※1年生は 担任が指導	夏季休 業中の 10日間 各日50 分	【指導体制】全教員、学生ボ ランティア 【取り組みのねらい・目的】 事前の算数プリントで苦 手な単元があった児童に 対しつまずきをドリルで 確認し、解けなかった問題 の解き直しをする。 【使用教材】東京ベーシック ドリル、教科書がっちり算 数プリント等	夏休み終了 後、確認テス トの実施	正答率80%	計画通り10日間実施し た。目標はほぼ達成で きた。	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員で取り組ん だことにより学校全 体で児童の学力の定 着を図ろうとする意 識が高まった。 学習教室の時はでき ても時間の経過とと もに忘れてしまう。 繰り返し指導するこ とが重要である。 	○

6 継続	漢字検定	全学年の希望者	1月検定日＋練習日5回 (11月より実施)	【指導体制】管理職、開かれの会担当者、保護者ボランティア 【取り組みのねらい・目的】漢字の読み書き能力の向上、漢字に対する興味・関心の醸成 【使用教材】漢字検定協会の公式問題集	漢字検定	受験者全体の85%以上合格	漢字検定に向けて、練習日を5日設けた。	<ul style="list-style-type: none"> 92名の児童が参加した。 練習日は漢字検定協会の公式問題集を使用した。どの子も集中して取り組んだ。 90名受験、83名合格。合格率92.2% 	◎
7 継続	家庭学習	全学年全員	毎日	【取り組みのねらい・目的】年度当初に保護者に家庭学習について説明する。家庭学習強化期間を設定し、提出率を確認する。未提出者はその日のうちに休み時間や放課後等で課題を終了させる。	宿題提出状況調査	宿題提出率90%	児童アンケート「家庭学習を忘れずにできた」84.8%	<ul style="list-style-type: none"> 目標まで今一步であった。 忘れてしまう子へ繰り返し、粘り強く指導していく。 	○
8 新規	話し合い活動の充実	国語科を中心とし、教育活動全般	通年	【取り組みのねらい・目的】 低学年：相手の発言を受けて話をつなぐ。 中学年：〃 共通点や相違点に着目できる。 高学年：話し合いを通して考えを広めたりまとめたりできる。	教員は授業中の観察から確認する。児童には自己評価を行う。	各学年の達成60%	目標はほぼ達成した。児童アンケート「授業中、自分の考えや意見を発表した」76%	<ul style="list-style-type: none"> 各学級とも話し合い活動を意識して授業に取り入れた。今後はより高い達成率を目指す。 	○
9 改善	思考力・判断力・表現力を伸ばす授業	主に国語算数理科社会	通年	①観察・実験、レポートの作成、論述などの知識・技能の活用を図る学習活動を月1回は取り入れる。 ②授業の中で、主要発問に対する自分の考えをノートなどに書く活動を週2回は行う。 ③主に国語で文章の要約を月1回行う。	児童の作品やノートから見とる。	教員による自己評価で ①作品の向上が見られた児童80% ②自分の考えを書けた児童80% ③要約ができる児童70%	目標は8割程度達成できた。	<ul style="list-style-type: none"> 今後も①・②・③の活動を積み重ね、児童の学習の見とりも丁寧に行っていく。 	○

10 継続	足立スタンダードに基づく授業	全教職員	通年	足立スタンダードに基づく授業を毎時間行う。	管理職の授業観察や教科指導専門員の巡回指導	足立スタンダードに基づく授業ができる教員100%	足立スタンダードを基にした授業はどの教員もほぼできる。	・今後も教科指導専門員の指導を受け、足立スタンダードの授業をより100%に近づける。	○
11 継続	あだち小学生夏休み学習教室	3・4年生の対象児童	夏季休業中の5日間	国語・算数について問題集を使った指導を行うことで基礎学力の定着を図る。	指導終了後、達成率確認テストを行う。	テストの達成率10%向上	10%の向上は達成できなかった。	・学習教室の時は、問題を解けても時間が経つと分からなくなってしまう。学習習慣をつけるよう粘り強く取り組んでいく。	△

重点的な取組事項－2		教師の授業力向上（小・中連携、校内OJT、巡回指導等）				
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
教師の授業力向上 （十中・島根小との連携の推進） （校内OJT推進、巡回指導等）		小中連携・OJTによる授業力向上90% 児童アンケート 「授業が分かりやすい」90%	・教員評価 「小中連携・OJTにより授業力向上」85% ・児童アンケート 「授業が分かりやすい」93.1%	8回の小中連携実施 全員研究授業を実施した。研究の深まりは、分科会により差があることが課題である。	○	
B 目標実現に向けた取組み						
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度	
教師の授業力向上	足立スタンダード100% 児童アンケート 「授業が分かりやすい」90%	・足立区スタンダードの徹底 ・学習規律の徹底（梅一ルール） ・一人研究授業2回以上 ・授業観察 ・巡回指導 年次研修 ・OJT（若梅塾・管理職による指導等）	・教員評価 「足立スタンダードを基にした授業」82% ・児童アンケート 「授業が分かりやすい」93.1%	・定期的な教科指導専門員の指導が授業力向上に有効であった。管理職も共に授業を観察し、教員の課題を共有した。 ・足立スタンダードを基にした授業を100%に近づける。	○	

小中連携の推進	年間8回3校合同研究会 教員評価「小中連携による授業力向上」90%	・年間8回の合同研究会 ・十中教員による勉共会3回(児童向け)	・教員評価 「小中連携による授業力向上」85% ・合同研究会年間8回を計画通り実施 ・十中教員による勉共会3回(児童向け)実施	・学びの連続性に視点を置き研究を推進した。 ・児童の探究心を育てる課題解決型の授業展開を目指した。成果と課題を明らかにし次年度へつなげる。	○
区小研等学校外の研究会参加	区小研参加100% 区内外の研究会参加2回以上	・区小研参加 ・区内外の研究会参加 ・各種研修会参加	・教員評価 「区小研に毎回参加、区内外の研究会2回以上参加」90%	・区内外の研究会で学んだことを授業改善にいかすことが求められる。	◎

重点的な取組事項－3		心と体の健康推進（保護者・地域等との連携）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者・地域と連携し、健康で明るく生活できる児童の育成 健康教育・安全教育の推進を図り、安心・安全な学校づくり		生活習慣の確立・体力向上 いじめ・不登校 見逃しゼロ 学校事故 未然防止	・教員評価 「いじめの早期発見と適切な対応、不登校の対応や見逃しゼロへの取組」85%	「いじめ・不登校・見逃しゼロ」は、概ね達成できた。児童の生活習慣は、引き続き指導を要する。	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
道徳の時間の確保と質的改善 道徳教育の充実	教員評価 「道徳の授業で自分の考えをもつことができる児童が85%」が100%	・道徳授業の時数確保と改善(道徳的価値について児童に考えさせる、異なる意見をもつ他者と意見交換するなど) ・道徳研修会 ・人権標語づくり ・ありがとうカード ・縦割り班活動年間9回	・教員評価 「道徳の授業で自分の考えをもつことができる児童が85%以上となったか」85%	・目標の100%には届かなかったが、おおむね達成できた。 ・今後も児童が自分の考えを積極的に発言し、意見交換からさらに考えを深めていく授業を目指す。	○
幼稚園・保育園との連携	交流計画・ブロック協議会の100%実施	・交流計画年間5回 ・ブロック協議会年間2回	・交流計画100%実施 ・教員評価100%達成 ・保育内容がよく理解できた。また相互交流により教員理解・児童園児理解が深まった。	・児童・園児、教員相互の交流が深まった。	◎

体力向上	児童アンケート 「体育の授業に楽しく取り組めた」90% 「体力が向上した」85%	<ul style="list-style-type: none"> ・体育授業の改善（運動量の確保、運動の特性に触れる授業） ・投力を高める取組（準備運動にキャッチボール、的当て板の活用） ・学習カードを活用した体育授業 ・体育実技研修会 ・「はつらつタイム」「長縄」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・はつらつタイムは、計画通り実行した。概ね良好である。 ・児童アンケート「授業に楽しく取り組めた」92.4% ・児童アンケート「体力向上」83.6% 	<ul style="list-style-type: none"> ・「体育の授業に楽しく取り組めた」は目標が達成できた。 ・「体力が向上した」はおおむね達成できた。 ・投力、跳躍力、柔軟性は、準備運動などで継続して取り組んでいく。 	○
生活リズムの定着	児童アンケート 「早寝・早起き・朝ご飯」「あいさつ」「ていねいな言葉づかい」80%	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携した生活リズムの定着 ・生活リズムカードの活用年間3回 ・食育の指導 「もりもり給食ウィーク」の実施 ・あいさつの指導（全学年あいさつ当番） 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート <ul style="list-style-type: none"> ①言葉使い 73.4% ②早寝・早起き・朝ご飯 76% ③あいさつができた 83.4% ・あいさつ以外は目標に今一步届かなかった。引き続き家庭の協力を求め、数値向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶当番は、児童の挨拶や言葉遣いの意識を高める上で効果的であった。 ・できている児童は固定化している。できていない児童のさらなる働きかけが必要である。 	△
オリンピック・パラリンピック教育 (体験的な学習)	教員評価 「オリンピック・パラリンピック教育を計画的に推進」90%	<ul style="list-style-type: none"> ・世界ともだちプロジェクト ・外部講師（アスリート等）との交流 ・オリンピック・パラリンピックの意義等（3～6年） ・華道教室（体験全学年1回以上） ・国際理解（体験全学年1回以上） ・書道教室（3～6年） ・邦楽教室（3～6年） ・親子盆踊り体験（1～2年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員評価 「オリンピック・パラリンピック教育を計画的に推進」80% 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値には至らなかったが、おおむね達成できた。 ・多くの専門家からの指導を受けたことが、効果的であった。今後も継続する。 ・華道教室、書道教室、親子盆踊り体験は、日本の伝統文化に触れるよい機会となった。 	○

安心・安全な学校生活の推進	教員評価 「いじめ・不登校の早期発見、見逃しゼロ」100%	<ul style="list-style-type: none"> ・常に児童の様子に注意する。 ・問題には即対応する。 ・アンケートの丁寧な聞き取り ・SOSの出し方教室の開催 ・安全指導の完全実施 ・安全点検の完全実施 	教員評価 「いじめの早期発見と適切な対応、不登校の対応や見逃しゼロへの取組」85%	・100%達成は現実には難しいが、それを目標に取り組む姿勢が大切であると考えます。	○
保護者・地域との連携強化	教員評価 「保護者・地域との連携」90%	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加（祭礼・清掃活動等） ・開かれた学校づくり協議会との連携事業 ・地域講師の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員評価「地域・保護者との連携」90% ・地域行事は計画通り参加できた。 ・連携事業も予定通り実施した。特に芝刈り作業は、地域や保護者の方、教職員、児童が協力して取り組むことができた。 	・子供の地域行事の参加は減少傾向にあると聞く。今後も地域行事参加を呼びかける。	○
情報発信	教員評価 「情報発信の適切な実施」90%	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新 ・学校だより・学年通信の充実 ・学校説明会の工夫 	教員評価 「情報発信の適切な実施」85%	・ホームページの更新は各学年とも適宜行った。ただ、学年により差が生じた。	○

6 まとめ

（1）今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

今年度も「児童の学力向上」を最重要課題とした。それに向け、「教師の授業力の更なる向上」を目指した。児童に分かりやすい授業を行うことが学力向上には不可欠だからである。具体的方策として、第十中学校・島根小学校と連携した研究授業や区内及び区外の研究会への参加、教科指導専門員による巡回指導、校内OJT等を実施した。また、授業時間以外にも、梅一タイム【火曜日・木曜日・金曜日の朝の時間（8:25～8:40）、金曜日の6校時】の充実、日本漢字能力検定の実施、読書の取組、東京ベーシックドリル等を活用した補習等を実施した。その結果4月実施の区学力調査の通過率は目標を達成した。児童アンケートでは「授業が分かりやすい」93.1%という回答結果であった。児童は、教員の指示を素直に受け止め努力を積み重ねている。そのような児童の学力を保証すべく次年度も取り組んでいく。

（2）保護者や地域へのメッセージ

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に御協力・御支援いただき心より感謝申し上げます。皆様の多大なる御協力のもと、子供たちは、素直で思いやりがあり、教員の指導が浸透しやすいと感じております。また、子供の生活習慣と学力・体力の定着は関連があります。引き続き、「早寝・早起き・朝ご飯」や「家庭学習の取組」、「親子読書」等への御協力をお願いいたします。今後も子供たちの健全育成に向けて、学校と家庭、地域が連携して取り組んでいきたいと考えます。よろしくお願いいたします。

（3）その他（学校教育活動全般について）

開かれた学校づくり協議会や保護者の皆様、地域の皆様の御協力のもと、芝生グリーンプロジェクト、芝生の上の映画会、親子ふれあい華道教室、親子盆踊り体験、漢字検定チャレンジ教室などを実施することができました。これらの豊かな体験的活動により子供たちの心の成長が図られています。深く感謝申し上げます。今後も児童一人一人が成長を実感できるような教育活動を展開していきたいと考えます。開かれた学校づくり協議会や保護者の皆様、地域の皆様の温かな御協力・御支援をよろしくお願いいたします。

